

南葛飾高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 1組～ 6組
 教科担当者：（1組：金澤・楠・塚原）（2組：金澤・楠・塚原）（3組：金澤・楠・塚原）（4組：金澤・楠・塚原）（5組：金澤・楠・塚原）（6組：金澤・楠・塚原）
 使用教科書：（大修館書店「言語文化」）

教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】教科書の中の主な漢字の読み書きができ、語彙をほぼ理解して使うことができる。
 【思考力、判断力、表現力等】文章を読んで自分の考えを書くことができ、他者の話を聞いて自分の意見を伝えることができる。
 【学びに向かう力、人間性等】自ら課題を見つけ積極的に取り組むことができ、他者と協働して課題に取り組むことができる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・教科書の中の主な語彙がほぼ理解できる。 ・複数の資料を活用したり関連させたりすることができる。 ・言語文化の背景や現代とのつながりについて理解できる。	・文章を読んだり話を聞いたりして主題を理解することができる。 ・根拠を示して自分の考えを書いたり話したりすることができる。	・規律を守って授業に取り組むことができる。 ・提出物の期限を守って課題に取り組むことができる。 ・分からないことや興味を持ったことについて自ら課題を設定し、学びを深めることができる。 ・他者と協働して課題に取り組むことができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		話	書	読					
古文編 1 古文に親しむ 宇治拾遺物語「児のそら寝」 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。 ・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり評論したりする活動。 【学びに向かう力、人間性等】 ・説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。	○「古文の言葉」を読み、文節や品詞の種類をまとめさせる。 ○重要語句を古語辞典で調べさせる。 ○説明を受けた大意を繰り返し読む。 ○登場人物の行動と心境をノートにまとめる。 ○僧の笑った理由を考える。 ○笑話であることを理解させる。 ○登場人物の行動や心境と重なる自分の経験をノートに書き出す。 ○古文に親しもうとしている。 ○教科書の注で示されている語句を辞書で引いている。	○			【知識及び技能】 ○歴史的仮名遣いについて理解し、本文を音読している。 ○文節や品詞の種類を理解し、本文を文節で区切り、新出語句、重要語句を調べている。 【思考力、判断力、表現力等】 ○本文の大意を理解し、登場人物の心境、語り手の意図を説明している。 ○登場人物の心境と重なる自分の経験を説明している。 ○僧が「そら寝」に気付いたか否かについて意見を発表している。 ○笑話としてのおもしろさを説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○教材に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。 ○古文に親しもうとしている。 ○登場人物や舞台について自分の言葉でまとめている。	○	○	○	8
定期考査						○	○		1
1 学期 古文編 伊勢物語「筒井筒」 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いを捉えようとしている。	○古典作品の中に、現代でも用いられる言葉を見出すことで、その共通点や差異について考えてみるようになる。 ○折句のおもしろさに気づくよう支援する。 ○文語のきまりや表現については、暗記を優先するのではなくその表現効果の味わいを共有することをめざさせる。 ○歌物語については和歌と詞書などの関係について確認し、内容については大意が把握できるように支援する。 ○本文を背景として成立した作品が身の回りにあることに気づくようになる。 ○古人の旅の様子などについては資料を用いて具体的にイメージできるように支援する。和歌の修辞技巧については身近な言葉で創作することにより、その表現効果に気づけるよう支援する。	○			【知識及び技能】 ○作品に表れた言葉の意味や文化的背景を理解し、興味関心をもつことによって語彙を豊かにしている。 ○折句の表現技法とその効果について理解し、文章表現を深く味わっている。 ○古典を読むために必要な文語のきまりや表現について理解し、物語の世界をより深く味わっている。 【思考力、判断力、表現力等】 ○歌物語について理解し、話の展開や登場人物の心情を叙述に基づいて的確にとらえている。 ○本文の趣旨をふまえ、本文がほかの作品や制作物に及ぼした影響について深く理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○古人の旅の様子などについて興味をもち、他の資料を調べたり、和歌の修辞技法を自分の文章表現に取り入れ、表現効果を味わおうとしている。	○	○	○	12
定期考査						○	○		1

2 学 期	現代文編 2 言葉の紡ぐ世界 「羅生門」 【知識及び技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○わからない漢字の読みを確認し、自ら書けるようにする。 ○「今昔物語集」の話の内容を理解し、「羅生門」との違いを確認する。 ○下人の心情が描写されている箇所を抜き出させて、どのような心情なのかを確認する。 ○各場面ごとの比喩表現について、どのような印象を受けるかを確認する。 ○「羅生門」の学習から、古典文学への世界への関心を深める。	○	○	○	○	○	○	17	
	定期考査								○	○
3 学 期	漢文編 1 漢文に親しむ 私たちと漢文 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえて、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文訓得のきまりを理解しようとしている。 ・『論語』『孟子』に興味をもち、現代に生きている言葉や考え方について理解しようとしている。	○漢文・漢字が日本語や日本文化に影響を与えたことを認識させる。 ○漢文が外国語ではないことを確認させる。	○	○	○	○	○	○	7	
	定期考査								○	○
3 学 期	漢文編 1 漢文に親しむ 論語 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえて、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文訓得のきまりを理解しようとしている。 ・『論語』『孟子』に興味をもち、現代に生きている言葉や考え方について理解しようとしている。	○基本的な訓読のきまりを確認している。 ○漢和辞典の使い方を確認させ、語句の意味を調べさせる。 ○対句的な文章表現が用いられている箇所を理解している。 ○孔子が登場した時代背景について確認させる。 ○それぞれの章の内容を脚注を参照しながら現代語訳している。 ○『論語』の本文から生まれた年齢ごとの呼称について確認する。 ○「学」と「習」の意味の違いがどのように説明されているかを確認する。 ○孔子の学問、政治に対する考え方を確認させる。 ○教材の内容を理解しようとする努力している。	○	○	○	○	○	○	11	
	定期考査								○	○
3 学 期	漢文編 2 現代に生きる言葉 完璧 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・故事成語の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとする。	○古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などを、教科書の注などを参考にしつつ学習する。 ○範読をした後一緒に音読したり、書き下し文を板書したものを写させたりする。 ○人物関係図を作成し、参照させることで、読解の補助をする。 ○主語・述語を図示し、誰が何をしているのかを一文ずつ理解させる。 ○マンガやアニメなどのセリフなどに故事成語が使われていないか探させ、興味を喚起させる。	○	○	○	○	○	○	○	11
	定期考査								○	○